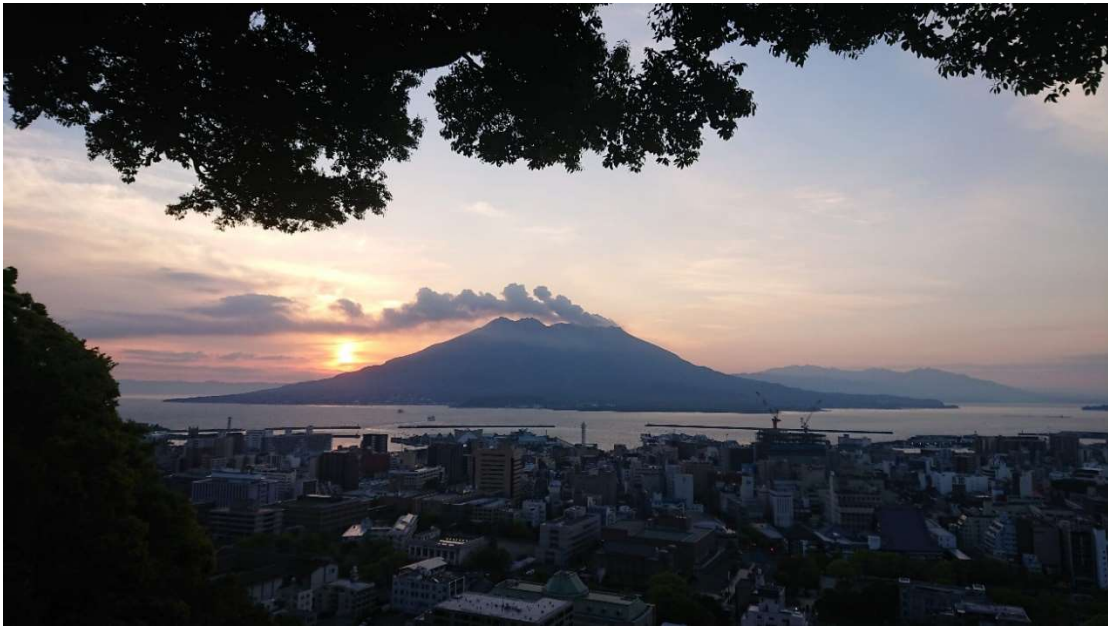


2018 年度

# 環境活動レポート

(対象期間 2018 年 5 月 1 日～2019 年 4 月 30 日)



発行日：2019 年 6 月 20 日

株式会社 **西村工務店**

## 1. 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西村工務店

代表取締役 西村 昌樹

(2) 所在地

[ 本社 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 17 番地

[ 森脇倉庫 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 192 番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 西村 昌樹

連絡先 電話 0796-96-1136 F A X 0796-96-0832

(4) 事業活動内容

建築工事業、土木工事業

(5) 事業規模

年間売上高 7 億 6,757 円 017/32 期、 12 億 641 万円)

従業員数 18 人 (2018. 5. 1 現在、前年 18 人)

床面積 1937. 96 m<sup>2</sup>

(6) 建設現場等の概要 (2018 年度)

建築工事 119 件 (前年 271 件)

土木工事 88 件 (前年 133 74 件)

## 2. 認証登録範囲

(1) 株式会社 西村工務店の上記 (1) ~ (4) までとする。組織の概要は、様式 6.1 に記載する。

(2) 当社の決算年度は、毎年 5 月 1 日より、翌 4 月 30 日までとなっており、エコアクション 21 の活動の期間もそれを基準とする。

### 3. 環境方針

株式会社 西村工務店 環境方針

当社は経営理念『快適で安心していただける環境づくり』のため、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

1. 環境負荷の低減（二酸化炭素排出削減、排水量の削減）に努めます。
2. 建設廃棄物を低減するためのグリーン購入を推進します。
3. 環境に配慮した製品、サービスを提供します。
4. 関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。

本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

改訂日 2017年7月22日

制定日 2008年8月18日

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

#### 4. 環境目標とその実績、次年度取組内容

(1) 当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度	2018 年度目標(5月~4月)	2019 年度 目標	2020 年度 目標
			2018 年度通期実績(5月~4月)		
1-1	二酸化炭素排出量削減 (電力使用量の削減)	2017 年度 11,635kg-CO2 (22,860kWh)	11,635kg-CO2 (22,860kWh)	11,635 kg-CO2 (22,860kWh) ( '17 年度同等) (継続実施)	11,635 kg-CO2 (22,860kWh) ( '17 年度同等)
			9,446kg-CO2 (21,716kWh)		
1-2	二酸化炭素排出量削減 (ガソリン車両燃費の向上)	2010 年度 47.7%	達成台数率 50%以上 ※途中目標変更	達成台数率 56.0%以上 (継続実施)	達成台数率 56.5%以上
			Σ達成台数 42 台/Σ全台数 105 台 =40%		
1-3	二酸化炭素排出量削減 (軽油車両燃費の向上)	2013 年度 51.4%	達成台数率 64.0%以上	達成台数率 65.0%以上 (継続実施)	達成台数率 65%以上
			Σ達成台数 30 台/Σ全台数 44 台 =68.0%		
2-1	産業廃棄物 排出量削減	2014 年度 50m3	45m3 ( '14 年度比 8%減)	45m3 ( '14 年度比 8%減)	45m3 ( '14 年度 比 8%減)
			56 m <sup>3</sup>		
2-2	廃棄物排出量削減 (紙資源使用量の削減)	2017 年度 ×170% 127,000 枚	127,000 枚	127,000 枚 ( '17 年度同等) (継続実施)	127,000 枚 ( '17 年度同等)
			117,266 枚		
3	総排水量の削減	2017 年度 ×165% 212m3	251m3 ※途中目標変更	212m3 ( '17 年度同等) (継続実施)	212m3 ( '17 年度同等)
			257m3		
4	グリーン購入品目の増加	2016 年度 50%	52%	53% ( '16 年度比 3%) (継続実施)	54% ( '16 年度比 4%)
			78%		
5	FP 住宅の販売棟数の増 加	201 I 年度 0 棟	2 棟	2 棟 ( '11 年度比 +2 件) (継続実施)	2 棟 ( '11 年度比 +2 件)
			0 棟		

(注1) 電力使用による二酸化炭素の排出係数を 0.435kg-CO2/kwh とした

(注2) 達成台数率とは、当社が所有している車の全数から、それぞれの車に定められた目標値に対して、達成できた車の台数を除したもの(台数×測定月数)

(注3) FP 住宅とは、FP コーポレーションが推進する高気密高断熱工法を用いた住宅のことである。

(注4) 1-2、3については、目標未達のため、期中に目標変更を行っている

(2) 主な環境負荷

No.	環境負荷	単位	2018年度	2017年度	2016年度
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	300,156	191,069	358,562
2	一般廃棄物排出量	t	9.62	9.52	9.68
3	産業廃棄物排出量	t	37	224	1,723
4	総排水量	m <sup>3</sup>	270	229	234

## 5. 主要な環境活動計画、取り組み結果とその評価及び次年度の取り組み内容について

No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成状況 (24/5～25/4)	達成率	評価	次年度の取り組み事項
1-1	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房の設定温度の励行</li> <li>・不在不用箇所の消灯徹底</li> <li>・暖房のバイオマス利用</li> </ul>	目標：22,860kWh 実績：23,103kWh	99%	達成 会社の実態に即した目標設定に変更。早期退勤を励行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの不使用时の電源オフ徹底</li> <li>・薪ストーブのフル活用</li> </ul>
1-2	ガソリン車燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車間距離を適度にあげ、急発進・急減速をさける。</li> <li>・無駄なアイドリングストップ</li> </ul>	目標：50%以上 実績：40%	80%	未達成 途中目標変更、意識の不徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄なアイドリングを無くする</li> </ul>
1-3	軽油車燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車間距離を適度にあげ、急発進・急減速をさける。</li> <li>・無駄なアイドリングストップ</li> </ul>	目標：63%以上 実績：68%	107%	達成 高燃費車への切り替えが貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄なアイドリングを無くする</li> </ul>
2-1	紙資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの使用</li> <li>・コピー用紙の裏面再利用</li> <li>・電子メディアの利用によるペーパーレス化</li> </ul>	目標：127,000枚 実績：109,763枚	115%	達成 ファイルをクラウド化にすることによる資源の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルのクラウド化、タブレット化</li> </ul>
2-2	産業廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> </ul>	目標：46 m <sup>3</sup> 実績：56 m <sup>3</sup>	80%	未達成 現場状況によって左右される	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> <li>・意識改革</li> </ul>
3	総排水量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員に節水意識を浸透</li> </ul>	目標：251 m <sup>3</sup> 実績：270 m <sup>3</sup>	93%	未達成 目標変更、ここ近年の状況によって変	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに蛇口を閉める</li> </ul>

					化	
4	グリーン購入品目の増加	・グリーン購入対象取扱品目を増やす	目標：51% 実績：78%	122%	達成 購入意識の徹底が寄与	・購入前にグリーン品であるかどうかを確認する
5	FP住宅の販売件数の増加	・住宅販売におけるFP工法住宅の推進	目標：2棟 実績：0棟		未達成 住宅市場の悪化	・営業訪問時に、必ず説明を行う

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。マニフェストをは1年間集計し6月までに報告書を提出。5年間保管、産廃委託契約書の5年間保管	遵法
2	建設リサイクル法	発注者への計画等説明書（工事着手する日の7日前まで）と完了報告書。	遵法
3	建築基準法	確認申請書を提出して建築主事の確認を受け、確認済証の交付を受ける。	遵法
4	騒音規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
5	振動規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
6	河川法	1日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合は河川管理者に届出書提出	遵法
7	フロン排出抑制法	フロンを使用する機器ユーザーに対して、使用する全ての業務用冷凍空調機器について日常的に行う『簡易点検』をを四半期に1回実施記録に残す	遵法

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。



## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 21 の目標として掲げた 8 項目のうち、当初どおりの目標達成できたのは、4 項目であった。

電力使用量は、働き方改革の一環として、ノー残業デーを求めるなどして、退社時間を早めるように推進した。すべての場面で徹底できているわけではないが、それなりの効果を発揮していると思う。過去の最大の電力使用からすると、削減ができています。

燃費向上について、軽油車両については、ある程度使う場面も少なかったこともあり、あまり影響が出ず、目標を上回ることができた。

紙資源の活用については、クラウドサービスを導入し、紙での情報共有を少なくするように努めており、一時のピークを下回った数字となった。

グリーン購入も商品選定時に、意識的にグリーン購入品を購入しようとしている意識が浸透しつつあり、こちらも達成することができた。

しかし、それ以外の 4 項目については、目標を達成ができず、特に『燃費（ガソリン）』『排水使用量』については、期の途中で目標を変更した。

10 年前に比べ当社の事業規模が拡大しており、それに伴って環境負荷が増えている。環境負荷の低い高効率な機器の導入等も積極的に行っているが、なかなか絶対量を減らせていない。工事量の確保のために、遠方の仕事も積極的に受注している反面、距離が増えるために、燃料の絶対量は増えている。

昨今、人不足の問題が言われており、新卒をはじめとする人材を確保できない状況にある。さまざまな対応策は考えられるが、単に給与がいい悪いだけでなく、組織が、社会に対してどれだけ貢献をしているのかということをしかりと発信できているところに若者が集まっているように思う。電力使用量の抑制を一つの数値目標にして、長時間労働を抑制すること、また環境活動をしかりと行い、企業の社会的責任を果たしていることをしかりとアピールする必要があると考える。

令和元年 6 月 1 日  
代表取締役 西村 昌樹

以上